

「悪魔の所業」といわれる人体実験を含む関東軍七三一及び一〇〇部隊に関する中国所蔵新資料。原文を全面復刻し、翻訳文・解説を付す！

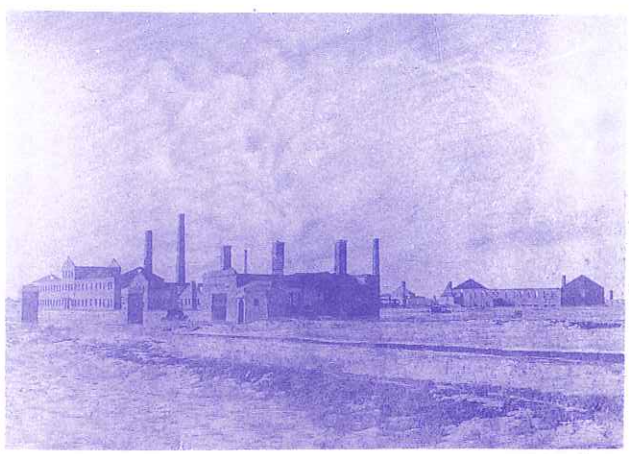
小林英夫・兒島俊郎編・解説／林 道生訳

# 七三一細菌戦部隊・中国新資料

不二出版

B5判・上製本360頁  
定価 12,360円  
(本体価格12,000円)

本資料は一九五〇年二月三月、中国東北人民衛生部の実態調査と住民の証言・告訴状から構成され、のちの五六年瀋陽における日本人戦犯裁判の証拠資料として使用されたものと思われる(本書「解説」より)。



長春孟家屯の「第100部隊」細菌戦部隊の全容写真

### 本資料目次

第一部 解説(小林英夫・兒島俊郎)	8
〔1〕本資料の特徴	6
〔2〕調査を実施した機関	4
〔3〕資料紹介	
第二部 原本復刻「侵華日軍細菌部隊檔案史料」	
資料1 東北衛生部關於調查「七三一」和「一〇〇」細菌部隊罪惡活動的報告	1
資料2 中央衛生部移交給東北衛生部的敵偽檔案日文資料	85
資料3 中央衛生部移交給東北衛生部敵偽檔案訳文	107
資料4 平房細菌工廠記実	125
資料5 安達鞠家窟細菌工廠記実	145
資料6 孟家屯一〇〇細菌部隊罪惡行報紙剪輯	155
資料7 東北衛生部、哈爾濱医大關於搜集与報送日本細菌戰犯的罪行材料	175
資料8 哈爾濱市香坊区和双城堡周家居民對日本七三一細菌戰犯罪行的見証書和控訴書	191
資料9 長春市衛生局派人到日本一〇〇細菌工廠所在地搜集細菌戰犯罪行材料報告及当地居民的控訴書	221
資料10 七三一部隊和哈爾濱風疫的關係	257
第三部 翻訳「侵華日軍細菌部隊保存史料」(林 道生訳)	
資料1 「東北衛生部の「第七三部隊」と「一〇〇部隊」細菌戦部隊の犯罪行為調査に関する報告」 東北人民政府衛生部 一九五二年一月三日	3
資料2 「中央衛生部移交給東北衛生部の敵偽檔案日文資料」 一九四五年	
資料3 「中央衛生部移交給東北衛生部敵偽檔案訳文」	
資料4 「平房細菌工場記録」 東北人民政府衛生部 一九五〇年	22
資料5 「安達鞠家窟細菌工場記録」 東北人民政府衛生部 一九五〇年	28
資料6 「孟家屯一〇〇細菌戦部隊」の犯罪行為「新聞記事」 一九五〇年	31
資料7 「東北衛生部・ハルビン医大 日本細菌戦犯の犯罪行為資料の蒐集と報告」 東北衛生部及びハルビン医科大学 一九五〇年三月四月	42
資料8 日本軍「第七三部隊」細菌戦犯の罪行に対するハルビン香坊区双城堡周家居民 の証言書及び告訴状 一九五〇年三月四月	47
資料9 長春市衛生局が日本第一〇〇部隊所在地で蒐集した細菌戦犯の犯罪行為資料報告と 現地住民の告訴状 一九五〇年	58
資料10 「第七三部隊」とハルビンベストの關係 一九五二年	65

●資料提供 中国遼寧省档案馆

●原本史料 「侵華日軍細菌戦部隊保存資料」

原本266頁、写真39点を収録

(弊社は注文制です。お近くの書店へご注文ください)

不二出版

〒113 東京都文京区向丘1-2-12  
TEL 03-3812-4433 FAX 3812-4464

注文カード  
帖合・貴店名

冊数	冊	発行所
摘要	書名	不二出版
	七三一細菌戦部隊・中国新資料	著者名 小林英夫 兒島俊郎 編・解説／林道生訳
定価 12,360円 (本体価格12,000円)	年 月 日注文	住所氏名
		様 1995.9



資料1 東北衛生部の「第七三一部隊」と「第一〇〇部隊」  
細菌戰部隊の犯罪行為調査に関する報告

一九五二年一月三〇日

巻内目録

1 東北衛生部の「第七三一部隊」と「第一〇〇部隊」細菌戰部隊の犯罪行為調査に関する報告

「第七三一部隊」と「第一〇〇部隊」細菌戰部隊の犯罪行為調査に関する報告  
一九五二年一月三〇日

1. 「第七三一部隊」及び「第一〇〇部隊」の実態とその本質

- (一) 日本帝國主義者が編成した凶悪な巨大細菌戰部隊
- (二) 残酷非道の人体実験
- (三) 对中国戦争及び反ソ戦争における日本帝國主義者の細菌武器の使用
- (四) 細菌戰の犯罪的行為を抹殺しようとする妄想

2. 「第七三一部隊」破壊後の真実資料

- (一) 「第七三一部隊」破壊後の概観
- (二) 殺人の魔窟——「ロ号棟」
- (三) 焼却所
- (四) 石井式細菌爆弾
- (五) 大規模なネズミ飼育所
- (六) 血ぬられた墳墓
- (七) 滿洲国「保存史料」

3. 第七二部隊「跡の細菌爆弾片の化学検査結果

四、「第七二部隊」の犯罪行為に関する証拠

- (一) 日本細菌戰犯罪者の人体実験の確拠とした証拠
- (二) 細菌武器製造のために日本細菌戰犯罪者は大量の「ノミ、ネズミ」を飼育、培養
- (三) 証拠書類

五、ハルビン市平房二帯で発生したペストと「第七二部隊」が散布した保

菌ネズミとの関係

- (一) ペスト流行の概況
- (二) 平房地区留畜動物の状況
- (三) 証拠書類

1. 「第七三一部隊」及び「第一〇〇部隊」の実態とその本質

(一) 日本帝國主義者が編成した凶悪な巨大細菌戰部隊

第二次世界大戦前、日本帝國主義者はヒトラー一味のファシスト党とともに世界制覇を確立せんと、人間大量殺戮用の最も残忍、残酷な手段を用いようとして準備してきた。彼らは人類文明の废墟の上に自己の支配を樹立しようとして、日本帝國主義の支配者達は反動的ブルジョア科学の墮落分子を、自己の凶悪な計画の实行者として登用した。日本帝國主義者による我が国東北地区占領直後、日本軍閥は軍事細菌学者の石井四郎を主幹とする防疫研究所を新設した。石井は陸軍軍医学校で細菌武器を研究したことがあり、彼の行動は最初から日本軍參謀本部の了解を得たもので研究の全てが極秘にされていた。石井の名前では防疫研究所の研究内容がわかってしまうので、彼は東郷と改称し、その機関名を「東郷部隊」と呼んだ。一時期「加茂部隊」と名乗ったこともある。

一九三六年、天皇の勅令によって日本參謀本部と陸軍省は我が国東北地区に大規模な二つの細菌戰部隊を編成した。石井研究所を基礎として編成された部隊は、一つの部隊は秘密保持のため「関東軍防疫給水部」と称し、他の一部隊は「関東軍軍馬防疫廠」と称した。一九四一年、ヒトラー一味の対ソ攻撃開始「二

「七三一」及「一〇〇」部隊の本來面目及其性質

日本帝國主義者建立毒惡的龐大的細菌戰部隊

在第二次世界大戦以前、日本帝國主義者藉着特勒食人生番一起、妄想建立世界統治、他們準備使用最殘忍最慘酷大批消滅人命的手段。他們妄想在人類文明的廢墟上奠定自己的霸權，日本帝國主義的主子們把反動資產階級科學界的腐敗份子找來實現他們這種惡毒的計劃。

日本帝國主義者在佔領我國東北不久，就由日本軍閥建立了一個細菌實驗所，所長即為日本軍事細菌學家石井四郎，這人在軍醫學院研究過細菌武器，當石井從最初開始這一罪惡活動時起就獲有日軍參謀本部戰略部方面的支援，石井所進行的一切研究都是極端秘密的。因為這是石井的名字就足以暴露該實驗所底罪惡活動方向，所以石井改名為東郷，他的機關便稱爲「東郷部隊」。有個時期該部隊又改爲「加茂部隊」。

一九三六年日本天皇著仁以秘密的勅令給日本軍參謀本部和陸軍省在我國東北建立兩個大規模的細菌戰部隊，一個即以石井實驗所爲基礎建立的部隊稱爲保守秘密起見，稱爲「關東軍防疫給水部」另一個稱爲「關東軍防疫預備部」，一九四一年當希特勒匪徒開始進犯蘇聯後，這兩個部隊即以秘密手續，將「關東軍防疫給水部」改稱「七三一部隊」，將「關東軍防疫預備部」改稱「一〇〇部隊」第七三一部隊由後方轉爲軍醫中將的石井四郎領導，第一〇〇部隊由獸醫少將若松領導。這兩個部隊均爲關東軍總司令部，並直屬於關東軍總司令部。

七三一部隊乃是一個包含有約三千科學技術人員的強大軍用細菌聯合製造廠，所謂給水和防疫都不過是掩蓋其部隊活動實質的幌子。

七三一部隊的組織如下。